

# 11 公共施設マネジメント推進プロジェクト

## プロジェクトの概要

長崎市の公共施設は、老朽化が進んでおり、人口の減少や少子化・高齢化の進行など、公共施設を取り巻く状況が変化し、求められる役割も多様化していることから、将来を見据えた公共施設のあり方を抜本的に見直す時期が到来しています。

また、厳しい財政状況のもと、これからの公共施設をどのように維持・更新していくかについては、施設の更なる有効活用や将来を見据えた適正配置など、無駄をなくす取組みも必要です。

そこで、このプロジェクトでは、市民が安心して快適に公共施設を利用できるよう、さまざまな環境の変化に適応した公共施設へ見直しを図るとともに、次の世代にできるだけ負担をかけずに継承できる持続可能な公共施設へと転換する「公共施設マネジメント」を推進し、子どもから高齢者までだれもが暮らしやすいまちの実現をめざします。

	何を（対象）	どういう状態にしたいのか（意図）
目的（ゴール）	公共施設マネジメントの実施計画となる地区別計画	策定が完了している。
これまでの成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設が抱える問題の把握・分析のために「長崎市公共施設白書」の作成</li> <li>●白書で整理した課題解決の方針として「長崎市公共施設マネジメント基本計画」の策定</li> <li>●行政サービス分野ごとに将来のあり方を示す「長崎市公共施設の用途別適正化方針」の策定</li> <li>●施設の安全性・機能性を維持し、長寿命化を図る「長崎市公共施設保全計画」の策定</li> <li>●施設やインフラ施設の総合的な管理のための方針となる「長崎市公共施設等総合管理計画」の策定</li> <li>●保全計画のもと、自主点検を実施するために、「施設整備チェックシート」を作成し、予算において大きな基礎資料となっている。</li> <li>●公共施設マネジメントの実施計画となる「地区別計画」の策定に向けた地域住民との対話を実施（市内を17地区に分けたうち、野母崎地区、外海・池島地区の対話を終え、緑ヶ丘・淵地区を実施中）</li> </ul>	
これまでの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●庁内の施設所管課が主体的に計画の実行に取り組むこと。</li> <li>●長崎市の公共施設マネジメントに対する市民の理解を得ること。</li> </ul>	

## 平成30年度の取組方針・主な取組み

### 取組方針

公共施設マネジメントの地区別計画の策定を進め、実効性のある公共施設マネジメントを推進します。

### 主な取組み

- 地区ごとに施設の再配置や複合化などの考え方を示す「地区別計画」の策定を順次進めていきます。
- 公共施設のあり方や使い方について市民と行政がともに考える場として地域住民との「市民対話」を実施するとともに、対話の状況や内容などを地域限定のかわら版で随時周知していくことで、公共施設マネジメントの理解促進を図ります。

関連事業	公共施設マネジメント推進費	3,197 千円
------	---------------	----------